

目的

生活館はアイヌの人たちの生活文化の向上と社会福祉の増進に寄与することを目的としています。

施設の概要

敷地面積	2,652.32㎡
建築面積	733.54㎡
延床面積	725.36㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造平屋建
開館	平成10年4月1日
事業費	221,162千円

[財源内訳]

国庫補助金	70,132千円
道補助金	35,066千円
帯広市	115,964千円

施設の特徴

- 建物外壁に村を司る神として崇められているシマフクロウのレリーフを配置しています。
- 外部出入口の上部壁面に、魔除けの効果があると言われている種類のアイヌ文様を施しています。
- 大会議室は伝統的儀式を行えるように、床面に炉を切り、また、その真上の天井(屋根)はチセ(アイヌの人たちの伝統的な住居)をイメージした造りとしています。
- ホールには展示コーナーを設け、アイヌ民族の資料を展示しています。
- 建物の周囲は、位の高い神として崇められているハルニレ、カシワなどの樹木を植えています。

事業

- アイヌ民族の文化及び生活習慣の伝承に関する事業
- 生活相談及び生活改善指導事業
- 保健衛生及び社会福祉事業
- 教育及び図書閲覧事業
- アイヌ団体の育成に関する事業
- 生活、文化及び社会福祉に関する活動の場を提供する事業

●展示コーナー



●大会議室



●ホール



●教養娯楽室・保健衛生室



●和室1・2



●調理実習室



館内図

